

# りぼん

2010 vol.10



第10号の「りぼん」から、市報にいみへの刷り込みという形でみなさんへ男女共同参画に関するさまざまな情報をお届けします。今後とも「りぼん」をよろしくお願いいたします。

今回の「りぼん」では、「新見市男女共同参画審議会」のみなさんへインタビューを行いました。インタビュアーでは、審議会委員のみなさんへ

**Q1** ● 男女共同参画社会推進のために必要だと思うこと

**Q2** ● 「自分らしく生きる」ためにしている工夫

**Q3** ● 委員のみなさんそれぞれの立場(役職等)での男女共同参画(個別の質問)について答えていただきました。

新見市男女共同参画審議会とは？▼新見市の男女共同参画の促進に関する基本的かつ総合的な施策および重要事項を調査審議するために設置され、学識経験者、関係行政機関の職員、関係団体から推薦された人等で組織されています。現在は、今年度改定を行う予定の「にいみ男女共同参画プラン」について、様々なご意見をいただいています。



新見公立短期大学  
看護学科教授  
逸見英枝さん(会長)

**Q1** ● 男女共同参画社会推進のために必要だと思うこと

## 相手を思いやる努力

男女共同参画は難しいことではなく、お互いを大切に思いましようということ。特に家庭では大人が思いやりを軸にした気持ちを子どもに行動で示すことが大切です。そうすれば子どもも自然にそういう風に育つと思います。

男はこう、女はこうという従来

の性別による「らしさ」や固定的な役割にこだわらず、人間として一人ひとりを尊重することが大切だと考えています。

**Q2** ● 「自分らしく生きる」ためにしている工夫

## 人として自然体で

あえて言えば自然体でいることでしょうか。私は学生にも教員だからと上から見るのではなく、一看護師として自然体で接しています。男子学生だから、女子学生だからということではなく、一人の人間として学生の個性や能力を見たいです。

だから男はこうあるべきとか、女はこうあるべきというのはあまり思いません。これからはそうい





野馳郵便局局長  
富部 透さん(副会長)

うものにこだわらない社会へと自然になつていくのではと思います。本音の部分では長い間培われてきた慣習があつてなかなか変わらなideしようが、たてまえを前面に出して自然に言っているうちにだんだん変わつていくのかなと思います。

### Q3 ● 看護職における共同参画 個性を生かせる看護師に

看護師の師という字は職業上の性別を超えています。以前女性ならば看護師、男性ならば看護士と分けて書いていました。だから看護職においても、その人が持つている個性や能力を発揮できればと思います。

これから看護の世界に出ていく学生には思いやりを根底に置いて、一看護師として一人間として活躍してほしいと思っています。

### Q1 ● 男女共同参画社会推進のため に必要だと思ふこと

#### 受け皿づくりが必要

郵便局長・学校長は、女性の人が増えていますが、一方で育児休暇をとつたために昇給ベースに差が出たとも聞き、そうした点を含めた職場の受け皿(環境)づくりが重要と感じます。

### Q2 ● 「自分らしく生きる」ために している工夫

#### 家庭では反省

職場では意識(男女共同)しているつもりですが、家庭ではできていない部分も多く反省しています。

### Q3 ● 局長、デスクからみた共同参画

#### 男性一人暮らし

最近、一人暮らしの高齢者、特に男性の人が増え、窓口での相談も多くなりました。また、会話を楽しみに来られる人もあり、気づかいを心がけています。

#### バイクの女性局員

現在、二十歳の女性局員がバイクで外を回っています。職場では、男女の区別なく、本人の希望も含

めて業務にあたつてもらっています。

#### 家族と個人情報

最近は、会話にも気を使います。個人情報の問題もあり、同居家族の間でもむやみに話題にできません。財布が別々ということだけでなく、トラブルになる事例も増え、難しい時代になりつつあると危惧しています。



阿哲商工会(ホームメイドのら)  
伊東 朋子さん

### Q1 ● 男女共同参画社会推進のため に必要だと思ふこと

#### 一人ひとりの個性を尊重

私の時代は、教育(男子は技術・女子は家庭科)で役割を植えつけられた意識があります。生理的部分を理解したうえで、一人ひとりの個性が先にあると思います。

### Q2 ● 「自分らしく生きる」ために している工夫

#### 白紙で聞く

人の話(意見)は、固定観念を持たず白紙の気持ちで聞くようにしています。そうすることで、いい情報も入り、気づくこともあります。

パン作りを習いに来た人にも、他の工場でも体験してもらい、白紙で臨んで、自分のやり方を身につけてもらいます。

#### 視線を浴びたツアー

夫婦で団体旅行(知り合いのいない)に参加した時のこと。バイキング料理を夫が盛り付けて持つて来てくれました。私たちにとつては、いつもの行動でしたが、年配ご夫婦のほとんどが女性が盛り付けて男性の元へ運んでいて、私たちの行動は奇妙に見えたようです。私に注がれる多くの視線で、改めて世間との違いを感じました。

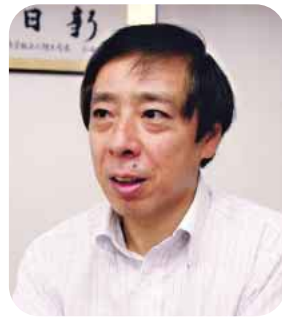
### Q3 ● 仕事と家事の分担

#### 我が家の約束

我が家には、「気付いた人がする」といった約束があります。例えば、洗濯物がたんでいないと言う子どもに、「そう言う前に、気付いたあなたがすればいい」とい



った具合に。子どももその中で自然に育ち、指示する人がいないので、家族みんな、お互いできることはするようにになりました。



新見商工会議所総務課長  
上田 正 さん

**Q1** ●男女共同参画社会推進のために必要だと思ふこと

### 若い世代に期待

全体的には、男女格差をなくす方向に向かっていると思います。体力の違いなどの性差はありますが、接待やセールスなどでは、女性の方が相手に対する印象も良いと感じます。

個性を生かし、得意な分野では、男性以上に活躍してほしいと願っています。中国など海外では男性がよく料理を作っています。日本でも若い世代から変わっていくことを期待します。

**Q2** ●「自分らしく生きる」ためにしている工夫

### 卓球を通じて

「自分らしく」ということを意識して行動しているわけではありませんが、仕事を離れてしっかり身体を動かし、現役で卓球を続けていきたいと思っています。スポーツ少年団の指導で子どもたちと関わることで、生きがいを感じています。

**Q3** ●男女別経営者の意識の違い  
細やかな気配り

男性経営者は、良くも悪くも大雑把な面もありました。女性経営者は、経営面だけでなくファッションや接待など細やかな気配りもあり、雇用している従業員の使い方も上手だと思っています。

これからは、男女対等への意識改革が、収益向上という現実につながると思うので、応援したいと思います。



高梁公共職業安定所  
新見出張所所長  
片山博一 さん

**Q1** ●男女共同参画社会推進のために必要だと思ふこと

### 自主的に本音の意見交換

市民が自主的に討論を行える場を作り、本音で意見交換を行うことが必要だと思います。数多く参加することで、自分の考えや他の人の考えを、改めて考え直すことができるようになると思います。

**Q2** ●「自分らしく生きる」ためにしている工夫

### 相手の気持ちを考えて

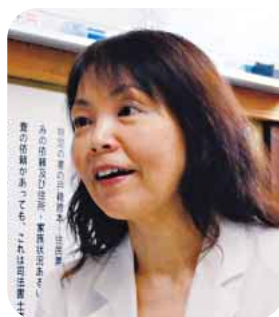
自分が嫌だと思ふことは、他人に行わず、してほしいと思ふことは、相手の気持ちや状況に合わせて行うように心がけたいと思っています。人間関係が良くなれば、自分が気付かずに行っている他人への迷惑（不愉快等）も教えてもらえるのではないのでしょうか。

**Q3** ●求職者と企業の男女雇用意識の違い

### 同時に取り組む問題

企業は、職場で必要とする職務に係る雇用条件を求めています。中には、旧態然の感覚（男女意識）も見受けられます。しかし、男女

によりサービス（作業）を提供する相手に受け入れられない場合もあり、一概に企業の考えが悪いとは言えない。サービスを受ける側も「男女」を意識しなくてもいい環境にする。問題解決には、企業・求職者が同時に取り組むことが大切だと思います。



国際ソブチミスト新見  
川上幸江 さん

**Q1** ●男女共同参画社会推進のために必要だと思ふこと

### 思いやりの家族から

「尊重」「思いやり」「助け合い」の三つの柱が男女共同参画には必要。一番小さい単位の家族が、お互いに相手（パートナー）を尊重し、認め合うことで思いやりが生まれ、「助け合える」環境や関係ができ、ひいては、女性の社会進出の環境づくりに通じると考えます。

**Q2** ●「自分らしく生きる」ためにしている工夫





## 自分らしさは「自然体」

私が気をつけていることは、「人と比べない」「自分の考えを押し付けられない」こと。自然体が望ましいが、周囲とのかかわりの中では難しいことも多い。相手の思いを聞き、受け入れた上で自分の思いや意見を伝えるようにしています。

## Q3 ● 女性の地位向上 男女は対等・平等

生活する上で、基本的な家事は男女共に必要。「家事は女性がするもの」、「お茶くみは女性社員」との考えを周囲に押し付けるのは間違い。男女は対等・平等であるべきで、古い習慣に惑わされることなく、お互いの意見や考えを尊重しあい、職場の中で女性が活躍できる社会になってほしい。

また、自分の基準や価値観で他の意見を排除してはいけないと思います。



新見警察署生活安全課長  
児島裕章さん

## Q1 ● 男女共同参画社会推進のため に必要だと思ふこと

### 固定的な性別役割の払拭

男女共同参画の意識は、今までの固定的な性別役割を払拭することから生まれてくると思います。例えば、児童の登下校の見守り・交通安全・防犯等の社会参加活動には、男女の性別を問わず多くのボランティアの人に関わっていただいています。

### キーワードは「いい夫婦仲」

家庭では、夫婦で相談し、お互い無理のない程度の役割分担をしています。子どもには、相談し合っている姿を見せてあげることが大切だと思っています。私も料理や洗濯はしますし、月に一〜二回は食事を作っています。共同参画のキーワードは、「いい夫婦仲」だと思います。

## Q2 ● 「自分らしく生きる」ために している工夫

### 自分の職業に誇りを

私自身、警察官として誇りをもって日々生活しているつもりです。今は、「にいま日本一安全安心のまちづくり」プロジェクトの推進に

力を入れていきます。

## Q3 ● 警察組織としての男女共同 参画

### 警察組織も少し変化

岡山県では、全体の6・3%が女性警察官です。警察官の仕事は、個々の個性や能力に応じて業務を担当していますが、職務の内容においては、女性の方がいい場合もあります。

現在、子ども・女性安全対策隊が結成され、女性警察官を中心に組織し活躍中です。



国際交流協会  
宮原淳子さん

## Q1 ● 男女共同参画社会推進のため に必要だと思ふこと

### 次世代を育てる

私たち団塊世代の意識改革を強制したり、しきたり・風習・習慣などは、壊すこともできないと思います。現在子どもたちの教育に関わっ

ている人達に、共同参画を理解した指導力をもっていたら、「次世代」を育てることが大切と感じています。

## Q2 ● 「自分らしく生きる」ために している工夫

### 自分流に生きる

他人の目線や価値観ではなく、我が家の幸せ感覚で常に生活しています。物事への取り組みは、自我を通さず、相手を認めながら積極的に責任を持って行動する。「自分流」に生きるように心がけています。

## Q3 ● 外国の人から学んだこと 基本は同じ

外国の人達は、男女の意識なく同じ目線で生活し、意見もはっきり言えます。それが生活の中で自然にできています。また、相手をお願いする心も自然と身につけていると思えます。

言葉で通じ合おうと思うのではなく、基本は同じ人間だと思いつけることが大切だと思います。

※次号は市報にいま第71号（平成23年2月1日発行）に掲載予定です

